

平成25年度脳脊髄液減少症研修会開催要領

1 目的

脳脊髄液減少症は、スポーツ外傷や交通事故等何らかの原因により脳脊髄液が漏れ出すことによって脳脊髄液が減少し、頭痛・めまい・倦怠感など様々な症状を引き起こす疾患である。この疾患については、その一部である「脳脊髄液漏出症」の診断基準が示され、平成24年6月にはその治療法の一つである「硬膜外自家血注入療法（いわゆるブラッドパッチ療法）」が先進医療として認められたところである。

脳脊髄液減少症について、正しい知識を得ることで、脳脊髄液減少症患者に対する理解を促進することを目的に研修会を開催する。

2 主催

山口県

3 共催

山口県教育委員会

4 後援

山口県医師会、山口県看護協会

5 日時

平成25年11月3日（日） 14:00～16:10

6 場所

周南総合庁舎さくらホール（周南市毛利町2-38）

7 対象

医療機関関係者、行政職員、教育関係職員 等

8 日程及び内容

13:00	受付
13:50	開会のあいさつ オリエンテーション
14:00	医療講演「脳脊髄液減少症の理解」 講師：独立行政法人国立病院機構福山医療センター （厚生労働省研究班所属） 脳神経外科医長 守山 英二氏
15:20	休憩
15:30	「脳脊髄液減少症を取り巻く現状～患者会の立場から」 講師：NPO法人脳脊髄液減少症患者・家族支援協会 代表理事 中井 宏氏
15:50	質疑応答
16:10	閉会

9 参加費

無料

10 その他

日本医師会生涯教育2単位・カリキュラムコード（12、15、30、57）